



◆ 第4回水産海洋研究センター参観デー

3月3日（日）、参観デーを開催しました。今回は、小名浜魚市場において「おさかなフェスティバルinいわき」との併催とし、多くの皆さんに来場いただきました。

■ 魚拓づくり

福島県でとれる魚やイカをつかって、カラフルな魚拓づくりにチャレンジしてもらいました。



■ 調査機器、研究成果の展示

水産海洋研究センターが所有する最新の調査機器や、研究成果の展示を行いました。



■ 調査指導船「いわき丸」見学

平成26年に就航した「いわき丸」の見学を行いました。



■ タッチプール、鮮魚・活魚の展示

タコやトラザメ、カスベなどのタッチプールや、いわきで水揚げされる魚の展示を行いました。



■ ホシガレイ放流体験

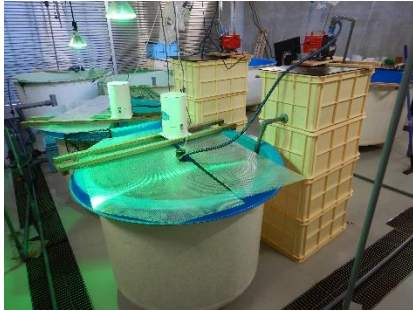
ヒラメに続く栽培漁業の期待の星「ホシガレイ」の放流を体験してもらいました。



◆ 試験研究の紹介〔魚介類への放射性物質の取り込み試験〕

放射能研究部では、魚介類、海水・海底土における放射性物質の調査研究に取り組んでいます。今回は、飼育による魚介類への放射性物質の取り込み試験を紹介します。

- ① ホシガレイを2グループに分け、一方は通常の海水、もう一方は放射性セシウムを含む海水で飼育します。



飼育の様子



ホシガレイの飼育状況

- ② 一定期間ごとに各水槽から一部の魚を取り上げ、全長や体重を測った後に、解剖して放射性セシウム濃度を測定し、その取り込みメカニズムについて分析します。



解剖して筋肉、内蔵、骨などに分ける



放射性セシウム濃度を測定

◆ 調査船いわき丸による海洋観測調査

当センターでは、本県沿岸の海況（水温や塩分等）を把握するため、調査船いわき丸による海洋観測調査を実施しています。

相馬沖、富岡沖、いわき沖の3定線で毎月1回、CTD（Conductivity Temperature Depth profiler）を用いた水温・電気伝導度・水深の鉛直観測により、海況データの収集を行っています。最大39地点で調査を実施するため、2泊3日～3泊4日の航海となります。

得られたデータは国立研究開発法人水産研究・教育機構が扱う海況予測モデルに活用され、東北海区全体の海況予報として広報されています。また、本県及び近隣県における表層の水温平面図を週に1度作成し、漁業者へ情報提供することで、効率的な操業を支援しています。



◎ 福島県水産海洋研究センター

◇ 所在地 〒970-0316 福島県いわき市小名浜下神白字松下13-2

◇ 電話番号 0246-54-3151 (代表) ◇ メール kaiyoken@pref.fukushima.lg.jp

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

